

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームゆーと	階数	地上3階
建設地	大阪府堺市中区見野山162他、陶器	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	120人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2014年3月29日
敷地面積	6,617 m ²	作成者	(有)南海総合設計 樋川 喜重
建築面積	1,995 m ²	確認日	2014年3月29日
延床面積	5,152 m ²	確認者	(有)南海総合設計 樋川 喜重



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	潤いのある生活環境を作ると共に地球温暖化防止に努め、地域環境を崩さ無い様、十分な緑化を行います。建物外観に変化を持たせ、落ち着いた中にも人の温かさを感じさせる建物となるように努めます。	
その他	1階に交流スペース、カフェコーナー、展示コーナーを設け、陶器等の展示、家族や地域の方々との交流を深められるように配慮。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
汚物の運搬、厨房からの配膳や入居者及び職員の動線がクロスする事の無い様に配慮しています。共同生活室の床は二重床とし、転倒・骨折の防止および職員の負担軽減を図ります。	特別養護老人ホームは1フロア4ユニット(10人)で構成し、動線を短く抑え縦方向の移動を少なくし、職員の移動に配慮しました。	外壁周長を抑えるため四角形とし、中庭、吹き抜けを各2箇所取入れ、採光やデザインに配慮。又屋上庭園を含め農園、花壇を設け、四季の移り変わりを感じていただけるよう配慮しました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
		建物外観は施設の周辺環境に配慮し、既存のケアハウスと共に周辺の環境に溶け込むように建物の四周には、中高木の樹木で囲み、周辺の田園風景や既存町並みと調和のとれた景観の形成を計ります。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)特別養護老人ホームゆーとりあ新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市中区見野山162他	1.4	B+
	主用途/延床面積	病院 / 5,152.30 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	4	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.8	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.2	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.6	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		5.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		5.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	